

竹早だより

平成26年度 9月号
平成26年9月22日
東京都立竹早高等学校
文京区小石川4-2-1
電話03(3811)6961

大盛況だった竹早祭

校長 高田 純一

9月12日（金）、13（土）の2日間、竹の子祭が実施されました。私は3年生の劇を見るのは初めてでしたので、期待をもって拝見しましたが、どのクラスもうわさにたがわぬ素晴らしい出来で、竹早の伝統の力を実感しました。中でも主役級の演技力は抜群で、いつまでも記憶に残る発表だったと思います。

9月14日（日）、15（月）は竹早祭として一般公開されました。私は入試相談にかかりきりで、あまり発表を見ることができなかったのですが、相談に来た中学生たちからは「他校では高校生が自分たちだけで楽しんでいて、入りにくい教室もあったが、竹早では次々に声をかけてくれて、気持ちよく過ごせた」といった声が聞かれました。1日に何校もの文化祭を回っている人が多いようで「目の肥えた」中学生が多くなっているんだなと実感しました。2日間の来場者は4,109名という多数でした。ご協力いただいた父母と教師の会の皆様、笹会の皆様、本当にありがとうございました。

<竹早祭の発表風景>



「そうだ、いいこと思いついた！」は本当にいいこと？

「そうだ、いいこと思いついた！」は、4歳になるうちの娘がよく言うセリフですが、その直後に、ハサミ、クレヨン、セロハンテープ…、何かを求めて行動が開始されます。親としては、注意深く見守っている必要があります。

では、受験生の発する「いいこと思いついた！」には、どんな意味があるのでしょうか。受験の世界にそんな「いいこと」なんてあるのでしょうか？

①「そうだ、指定校推薦で行こう！」

苦しくなってくると、指定校推薦が目の前にチラつきますが、第一志望でない以上、勇気をもって意識から消し去りましょう。妥協した大学選びをすると、その時はホッとすることも知れませんが、いずれ必ず後悔することになります。

②「そうだ、第一志望を下げよう！」

これこそ、最悪の思いつきです。第一志望を諦めた瞬間、気力もなくなり、ますます勉強しなくなるばかりです。目標を下げて、成績が伸びたという人を見たことはありません。こういう思いつきだけはしないでください。（ただし、滑り止めを冷静に受けるというのは、別の意味で勇気のいることであり、このこととはまったく違う話です。）

③「そうだ、苦手科目を捨てよう！」

この思いつきも大抵失敗につながります。なぜなら、他の人も同じことを考えているからです。高倍率のワナにはまっていくばかりです。そうではなくて、苦手科目は他の科目でカバーするという気持ちで、最後まで「連れて行く」のが成功のもとになります。「人の行く裏に道あり花の山」の格言通り、他の人が避けたがる受験は低倍率です。

④「そうだ、センター利用が楽だ！」

同一大・同一学部・同一学科を個別とセンターで受けた時、「〇〇」「××」を除き「個別〇・センター×」の場合と「個別×・センター〇」はどちらが多いでしょうか。「個別〇・センター×」はよく見かけますが、逆は少ないと思います。だれにとってもセンター利用は安価で手軽だからです。個別中心に考える方が私大合格の近道です。

⑤「そうだ、大学受験をやめよう！」

これは、究極の思いつきです。大学受験をしなければ、落ちることもなく、傷つきもしないからです。こんな考えが頭に浮かんだときは、勇気をもって振り払いましょう。大学受験は自分の気持ちとの戦いです。そして、それを支えるのは仲間の力なのです。

9月・10月の主な行事予定

〈9月〉	〈10月〉
23 (火) 秋分の日	1 (水) 都民の日
26 (金) 宿泊防災訓練 (1年) 始	2 (木) オープンデー振替休業日
27 (土) 宿泊防災訓練 (1年) 終	4 (土) 第1回オープンデー
	13 (月) 体育の日
	21 (火) 中間考査始
	24 (金) 中間考査終